

四賢婦人ゆかりの地を歩く

楫子たちが育ち、巣立った地を訪ね、偉業を偲ぶ

見て、聞いて、歩いた “ゆかりの地”

矢嶋楫子をはじめとした四賢婦人ゆかりの地を訪ね歩くウォーキングが5月11日に開催され、参加者約450人が「四賢婦人」の偉業を偲びました。

四賢婦人記念館をスタートし、矢嶋家墓地や矢嶋家跡など6か所の史跡に足を止めながら、歩いた道のりは約6km。参加者は、途中に待っている「ふるさと学芸員」から史跡の説明やその地まつわる民話を聞き、和気あいあいと歩きました。

途中やゴールで、地元のおもてなしや昼食を準備。参加者の疲れを癒しました。



楫子生誕 180 周年記念式典

女子教育の先駆者、矢嶋楫子の功績を顕彰

矢嶋楫子の生誕180周年を記念して5月12日、町文化会館で記念式典が開催されました。

徳富蘇峰生誕150年を迎え、本町と蘇峰に関する施設の協定を結んだ、宮本勝彬水俣市長が来賓として参加しました。

木山肥後神楽とふるさと学芸員の朗読劇で幕を開けた記念式典は、熊本放送(RKK)放送部の福島絵美氏が講演。自身の体験を元にした話には会場は拍手に包まれました。

シンポジウムでは、女子学院中学校・高等学校から梶原恵理子氏、日本キリスト教婦人矯風会から川野安子氏、熊本学園大学から米岡ジュリ氏、郷土史家の松野國策氏の4人がパネリストとして参加。「楫子が残した功績」と題して、パネルディスカッションを行いました。

会場の外には楫子のデスマスクや資料などが展示され、参加者は貴重な資料を熱心に見入っていました。



記念式典の開催宣言を行う、津森小学校児童